

Let's come together !

ウィーンの風 新緑に薫る名曲たち

ブラームス
国際コンクール
優勝の歌姫！



佐藤 卓史
(ピアノ)



© Yuki Suwa



松本 紘佳
(ヴァイオリン)

森野 美咲
(ソプラノ)

2021年4月28日 (水) フィリアホール

◆Kidsプログラム

10:45~11:50 (舞台の上)

0歳からのバリアフリーコンサート

フィリアホールでいっぱいあそぼう！

12:00~13:00

ホワイエでお昼休み

13:10~14:10 (舞台の上)

ミニ音楽講座 & 音楽劇

楽器を持って一緒に参加！

◆ソフレコンサート

19:00~20:30

小学生以上入場可

参加費

Kids プログラム

親子1組 3,000円 家族1名追加500円

一般 2,000円

ソフレコンサート

親子(小学生の子)1組3,000円

一般3,000円

Program



シューベルト：即興曲 D899-4

クライスラー：美しきロスマリン、シンコペーション

ブラームス：真実の愛 スuppe：恋はやさし野辺の花よ

R.シュトラウス：「言われたことは-何も残らないの」他

コルンゴルト：4つの小さな楽しいワルツより

ストラヴィンスキー：ディヴェルティメント

岡野貞一：ふるさと

主催：愉音 <https://www.yuon.net>

後援：横浜市青葉区役所

会場：フィリアホール(横浜市青葉区民文化センター) 青葉台東急スクエア South-1 本館 5階 田園都市線青葉台駅直結

チケット(愉音)：

✉ ticket.info.222@gmail.com

☎ 090-6543-5456



新緑の季節、ウィーンゆかりの作曲家、シューベルト、ブラームス、スッペ、R.シュトラウス、クライスラー、そしてコルンゴルドの名曲がお届けするウィーンの香り。
クライスラーとコルンゴルドと同時代の作曲家、ストラヴィンスキーは今年没後50年。「ふるさと」の作曲家、岡野貞一もほぼ同じ時代を生きた作曲家でした。

森野 美咲 Misaki Morino ソプラノ

岡山市出身。ウィーン在住。東京藝術大学声楽科卒業。ローム ミュージック ファンデーション奨学生及び文化庁派遣海外研修員として2011年に渡欧し、ウィーン国立音楽大学修士課程を満場一致の首席で修了。ドイツ歌曲、現代曲、オペレッタには特に定評があり、第27回ブラームス国際コンクール声楽部門第1位、第87回日本音楽コンクール声楽部門第1位受賞をはじめ、国際コンクールへ多数入賞。これまでにウィーン楽友教会、コンツェルトハウス、現代音楽祭シュタイヤーの秋(オーストリア・グラーツ)、東京メトロポリタン劇場、東京サントリーホール等でオペラやコンサートに出演。2019年にはウィーンフィルサマーアカデミーオペラ「偽の女庭師」題名役に抜擢、オーストリアツアーを成功させ、同年プロ野球オールスター戦開幕式にて甲子園球場で国歌独唱を努めた。2021年エトリンゲン音楽祭(ドイツ)喜歌劇「こうもり」アデーレ役で出演予定の他、今後の活躍が期待される若手ソプラノ。これまでにリガ国立フィル、シンフォニエッタ・バーデン、ソフィアフィル、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京シンフォニア、岡山フィルハーモニック管弦楽団等と共演。五島記念文化賞オペラ新人賞、岡山県芸術文化賞グランプリ、マルセンスポーツ文化特別賞、山陽新聞奨励賞、エネルギー賞受賞。2020年冬、初のアルバム“Small Gifts”をリリース。

佐藤 卓史 Takashi Sato ピアノ

第70回日本音楽コンクールで第1位。東京藝術大学を首席で卒業後渡欧、ハノーファー音楽演劇大学ならびにウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。2007年シューベルト国際コンクール第1位、2010年エリザベト王妃国際コンクール入賞、2011年カントウ国際コンクール第1位、メンデルスゾーン国際コンクール最高位など受賞多数。ウィーン楽友協会をはじめとするヨーロッパの主要コンサートホールの他、2011年にはシリア・ダマスカスのダール・アル・アサド文化芸術劇場にてリサイタルを開催した。2013年、デビュー10周年を記念してソロリサイタルツアー「ベートーヴェン 4大ピアノ・ソナタを弾く」を開催、全国16都市で演奏し好評を博す。2014年より「佐藤卓史シューベルトツィクルス」を展開、ライフワークとしてシューベルトのピアノ曲全曲演奏に取り組んでいる。指揮者ジョナサン・ノットの東京交響楽団音楽監督就任披露演奏会にてソリスト(ブラームス:ピアノ協奏曲第1番)に指名されたのをはじめ、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、ベルギー国立管弦楽団など国内外のオーケストラと多数共演。2007年デビューアルバム「ラ・カンパネラ〜珠玉のピアノ小品集」をリリース以来、レコーディング活動も活発に行っており、日本と欧州で20枚以上のCDを発表。「読売新聞」「毎日新聞」「日本経済新聞」「レコード芸術」など各紙誌で高く評価されている。近年は作編曲の分野での活躍もめざましく、「オーボエ、ホルン、ピアノのための三重奏曲」(2002-11)が2017年に出版されたのをはじめ、「ダウランドの『流れよ、わが涙』による変奏曲 一失われた影を探してー(2台ピアノのための)」(2019)が名古屋・宗次ホールにて、また「黒田節によるカプリース・ファンタジー(2台ピアノのための)」(2019)はモスクワ音楽院大ホールにて世界初演され好評を得た。放送出演、室内楽、レクチャーなど活動の場は多岐にわたる。公式ウェブサイト: www.takashi-sato.jp

松本 紘佳 Hiroka Matsumoto ヴァイオリン

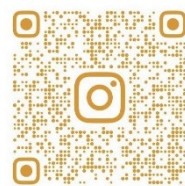
ハンガリー・ブダペストにてリスト室内合奏団とヴィヴァルディ作曲「四季」全曲協演デビュー。第10回ヴィエニャフスキ・リピンスキ国際コンクール・ジュニア部門第2位、全日本学生音楽コンクール東京大会及び全国大会小学校の部第1位、ユーディ・メニューヒン賞(ドイツ・クロンバルクアカデミー)他国内外受賞多数。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」他出演。ハンガリー・リスト室内合奏団、ハンガリー・ジェラル・フィル、ドイツ・イエナフィル、東京交響楽団、東京シティ・フィル、オーケストラアンサンブル金沢、日本センチュリーオーケストラ、日本フィル、新日本フィル、神奈川フィル他と共演。これまでに原田幸一郎、ザハール・ブロン、ジェラル・プーレ、ボリス・クシュニール他に師事。ヤマハ音楽振興会奨学生、また明治安田クオリティオブライフ文化財団助成を受け、さらに文化庁新進芸術家海外派遣研修員(3年間)としてウィーンに留学。ウィーン市音楽芸術大学および同大学院修士課程をそれぞれ最優秀の成績で卒業。横浜市の公立小中学校、特別支援学校訪問演奏を行うなど、地域での活動にも取り組んでいる。現在、演奏活動に加え、音楽が生物に与える影響に関心を持ち慶應義塾大学にて学ぶ。公式インスタグラム: @hirokatsumoto



愉音は、SDGsとSTEAM教育の理念のもとに、バリアフリーで触れる参加型の音楽体験を提供し生涯に渡る心身の健康や、地域におけるつながりの厚みを増すきっかけを作ることを目的とする団体です。

大学生、子育て世代、シニア世代まで幅広い年齢層のメンバーが集い、企画運営を行っています。

食べるもので身体ができていくように、音楽は心を育む大切な栄養の一つ、そして音楽は皆のもの。ともに活動する仲間を募っています。



YUON.LETS.COME.TOGETHER



次回公演は、7月7日(水)「室内楽の世界 レジェンドを迎えて。」お楽しみに！